

## 10月20日のウクライナ情報

安齋育郎

### ①現実派国際政治学者ミアシャイマーの中東戦争見立て(2023年10月18日)

- ・ガザ侵入も、空爆続行も戦略的には失敗する
- ・2 国家体制しか解決法はない(が、現政権では無理)

<https://twitter.com/i/status/1713784384900469160>



<https://twitter.com/ShortShort News/status/1713784384900469160?s=09>

### ②南部」部隊の UAV オペレーターによるウクライナ軍武装勢力の破壊映像(2023年10月17日)

※安齋注:こういう映像をお伝えするかどうか迷いますが、戦争の現実ではあります・

UAV(無人航空機)オペレーターは、アルチョモフスク方向のウクライナ軍第 80 空挺旅団の歩兵を破壊し、弾薬を塹壕やシェルターに直接投下した。

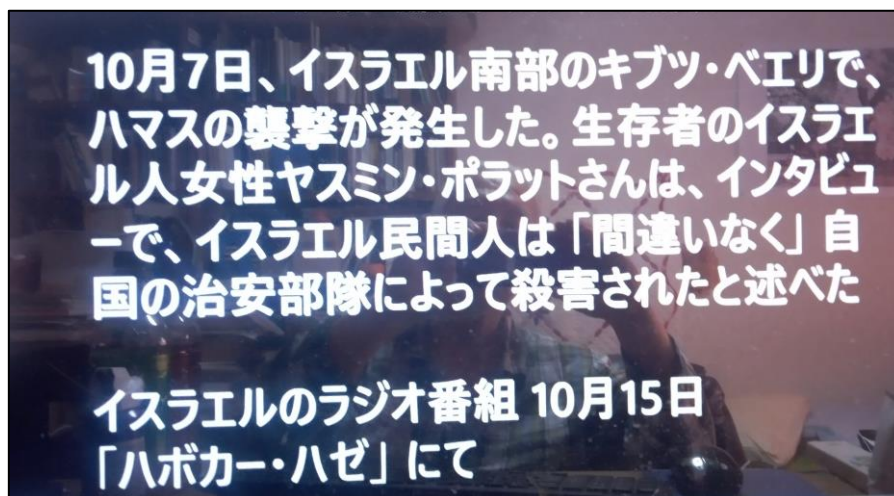
<https://twitter.com/i/status/1714240882206277939>



<https://twitter.com/zov vs nato/status/1714240882206277939?s=09>

### ③イスラエルのキブツ生存者「イスラエル軍が自国の民間人を射殺」ヤスミン・ポラット Yasmin Porat (2023/10/15)

<https://youtu.be/6unx9PNB7jc>



<https://www.youtube.com/watch?v=6unx9PNB7jc>

### ④信じ得るウクライナ戦争情報(投稿日:2023年10月4日)

※投稿者コメント:ロシア・ウクライナ紛争の主に民間人の主張や、ちゃんと現地入りして取材してるジャーナリストの情報を厳選してまとめてみたよ

戦争初期(Twitter)～イーロン・マスク(X)体制になるまでは検閲されまくってたので、見たことない映像もあるかも…?

あらためて調べたら、この紛争関係だけじゃないけど字幕付けた動画が合計で 885 本あったよ  
われながらマジキチだよ

<https://twitter.com/i/status/1709567706889175151>

※安齋注:59分35秒の映像資料です。時間のある時に少しずつでもご覧下さい。こういう映像を発信してくれる人がいるから、戦争で何が起きているか、いくらかでも真実が見えてくるんですね。現地取材した人、その映像に字幕を付けた人、感謝します。



<https://twitter.com/Tamama0306/status/1709567706889175151?s=09>

## ⑤ガザの病院爆発で500人死亡、イスラエル軍とハマスの双方が関与否定…米国とアラブ側の首脳会議が中止(2023年10月18日)

【カイロ＝西田道成】イスラム主義組織ハマスが実効支配するパレスチナ自治区ガザにある病院で17日、爆発があり、ガザ保健当局によると、約500人が死亡した。ハマスはイスラエル軍の空爆だと主張している。イスラエル軍は、ガザの武装組織イスラム聖戦がロケット弾の発射に失敗したのが原因だとして、関与を否定した。18日にヨルダンで予定されていた米国のバイデン大統領とアラブ側の首脳会議は中止となった。

現場の病院は、イスラエル軍が退避勧告を出していたガザ北部のガザ市にあり、退避していない住民らが身を寄せていた。カタールの衛星テレビ局アル・ジャジーラは、担架で運ばれていく負傷者らの姿を放映した。

この爆発について、イスラエルのベンヤミン・ネタニヤフ首相は「攻撃したのはガザの野蛮なテロリストで、イスラエル軍ではない」との声明を出した。

ガザの保健当局によると、7日以降のガザの死者は3000人以上に達した。イスラエル側の死者は1400人超で、双方の死者は4400人以上に上っている。

事態が緊迫する中、パレスチナ自治政府のマフムード・アッバス議長は、ヨルダンの首都アンマンで18日に予定していたバイデン米大統領、ヨルダンのアブドラ国王、エジプトのアブドルファタハ・シシ大統領との首脳会議を欠席することを決定。これを受けてヨルダンは「今は戦争を止めること以外、話しても無駄だ」(外相)として、首脳会議の中止を発表した。

ロイター通信などによると、爆発後の17日夜、パレスチナ自治政府が統治するヨルダン川西岸では投石などの抗議デモが起きた。西岸の中心都市ラマツラ近郊の村では、デモ参加者1人がイスラエル軍によって射殺された。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/a9597bbe7820379ddc7322c559c38b0e19707eea/images/000>

## ⑥英国国防省 ウクライナ情報(2023年10月17日)

ロシアがウクライナ東部において、複数の攻撃軸からの互いに連携のとれた攻勢を始めている可能性は極めて高い。ドネツィク方面のロシア軍は、重厚に防御された都市アウジーウカへの諸兵科連合戦力による攻勢を遂行中である。

なお、この都市は 2014 年以來、最前線に位置する都市だ。そして、アウジーウカという都市は、ロ

ロシア軍がドネツィク州を制圧するという、さらに広範な目標の達成を妨げているという点で、大きな障害になっている。

ロシア側の攻撃は、複数の機甲大隊を投じて遂行されている可能性が高く、これらの部隊はアウジーウカという都市の包囲を企図している。この攻撃は、少なくとも 2023 年1月以降では、おそらくロシアによる最も重要かつ大規模な攻勢作戦であろう。防御陣地にこもるウクライナ軍は現状、ロシア軍の進撃を跳ね返している可能性が高く、その間、ロシア軍は装備と兵力の面でかなりの損失を被っている模様だ。アウジーウカ掃討の成功可能性が短期的にみて、ますます低くなっているなか、進撃の遅さと損失の多さが引き金となって、ロシア発のメッセージの内容が、攻勢から「能動的防御[アクティヴ・ディフェンス]」へと変化していった可能性は高い。(赤字部分は検証を要す)

The graphic is a dark blue rectangular box with a yellow header bar. In the top left corner is the Defence Intelligence logo. In the top right corner, it says 'UPDATE ON UKRAINE 17 October 2023'. The yellow header bar contains the text 'INTELLIGENCE UPDATE'. Below this, there are three bullet points in white text.

Defence Intelligence

UPDATE ON UKRAINE  
17 October 2023

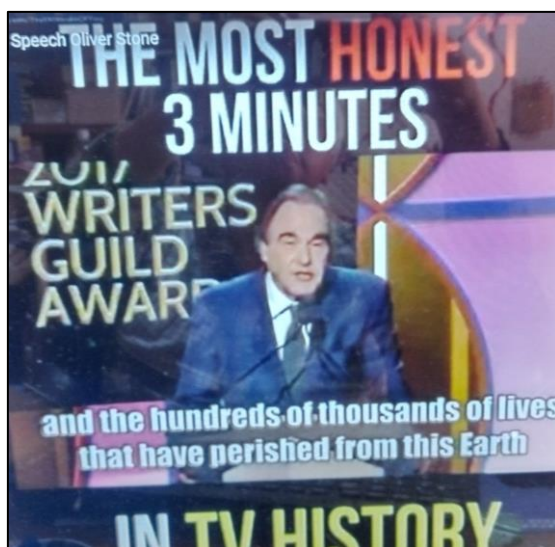
**INTELLIGENCE UPDATE**

- Russia has highly likely begun a coordinated offensive across multiple axes in the east of Ukraine. Russian forces in Donetsk are conducting a combined arms offensive on the heavily defended town of Avdiivka, which has been on the front line since 2014. The town is a major obstacle in preventing Russian forces from their wider objective of taking control of Donetsk Oblast.
- Russia's attack is likely being carried out with multiple armoured battalions, which are attempting to envelop the town. It is likely to be the most significant offensive operation undertaken by Russia since at least January 2023.
- Entrenched Ukrainian forces have so far likely held back the Russian advance, with the latter sustaining heavy equipment and personnel losses. Slow progress and high casualties have likely triggered a change in messaging from Russia, from an offensive to 'active-defence', as successfully clearing Avdiivka looks increasingly unlikely in the short term.

## ⑦テレビ史上もっとも率直な3分間スピーチ(オリバー・ストーン、1年前)

<https://youtu.be/MSuM5ziVfP8>

※安齋注:字幕はないが、自動翻訳で味わって下さい。必見ですね。



<https://www.youtube.com/watch?v=MSuM5ziVfP8>

## ⑧「ロシアのようにやられるかも」…イスラエル軍、地上戦控えて戦車にドローン防御用のケージ設置(2023年10月18日)

パレスチナのイスラム組織ハマスと武力衝突しているイスラエル軍がガザ地区での地上戦を控え戦車に特別な保護装置を設置したとワシントン・ポストが17日に報道した。

ガザ地区境界でとらえられたイスラエルのメルカバ戦車には大きな鳥かごのような鉄製の構造物が砲塔に設置されている。

同紙はこれが戦車を攻撃しようとするドローンを防ぐコープケージと説明した。

ハマスは7日明け方にイスラエルを急襲した後、攻撃用ドローンをイスラエルの軍人と戦車への攻撃などに活用してきた。もしイスラエルの戦車が地上戦のためガザ地区に入ればドローン攻撃はさらに激しくなるものとみられる。

陸軍戦力の核心である戦車に対応したドローン攻撃の効果はすでにウクライナがロシアを相手に立証している。ウクライナ軍はドローンをロシアの戦車の上に飛ばして爆弾を投下したり、開かれたハッチに正確に落として無力化した。これにより莫大な被害を受けたロシアは苦肉の策として保護ケージを考案した。

ケージのおかげでドローンが落とした小型爆弾は戦車に届く前に跳ね飛ばされたり、ケージに当たった瞬間に爆発して戦車そのものの被害を最小化できる。こうした防御効果が立証され、イスラエル軍が地上戦を控えてこれを借用した。

米国際戦略問題研究所(CSIS)のマーク・カンシアン研究員は「保護ケージのような構造物が戦争に投入された戦車の標準になるのか非常に注目される」と明らかにした。

だが保護ケージのために戦車の重さが増え機動性が落ち、目立つようになり攻撃を受けやすいという批判も出ている。また、ガザ地区内の建物の上で戦車に向けロケット推進手榴弾のような武器を撃てばケージは何も効果がない。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/677db9d7b86704c59b2b046ec64462f44d46686f/images/000>

## ⑨イスラエルが「ジェノサイド」ブラジル労働者党、非難決議案公表(2023年10月18日)

【AFP＝時事】ブラジルのルイス・イナシオ・ルラ・ダシルバ(Luiz Inacio Lula da Silva)大統領が所属する左派・労働者党(PT)は 16 日、イスラエルが「ジェノサイド(集団殺害)」や「戦争犯罪」を行っ

ていると非難する決議案を公表した。これを受け在ブラジル・イスラエル大使館は 17 日、パレスチナ自治区ガザ地区(Gaza Strip)を実効支配するイスラム組織ハマス(Hamas)と同列視されるのは遺憾だと抗議した。

決議案は「ハマスとイスラエルの双方が、民間人に対して容認し難い攻撃や殺人、拉致を行っている。そしてイスラエルは今この瞬間にも、さまざまな戦争犯罪を通じてガザ住民に対するジェノサイドを行っている」と糾弾している。

イスラエル大使館は X(旧ツイッター)で「人権を擁護する政党が、テロ組織ハマスが家々を 1 軒ずつ回って家族を皆殺しにしている行為と、イスラエル政府による国民を守るための行為を同列に扱うのは、非常に残念だ」と述べた。

これに対し労働者党は 17 日、イスラエル大使館の決議案の解釈には「誤り」と「悪意」があると反論した。

さらに、イスラエルがガザの病院を攻撃し、少なくとも 200 人以上を殺害したと非難し、「こうした攻撃を行う政府に人権を語る道徳的な権限はない」と主張した。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/b0f42b12a99d125087e7b259af9e2116a5237344/images/000>

## ⑩捕虜として投降したウクライナ戦闘員のウクライナの処遇(2023年10月17日)

ウクライナメディアが、捕虜として投降した自軍戦闘員をウクライナ軍が清算する映像を公開。ウクライナのクワッドコプターが、ウクライナ兵捕虜が乗っていたロシアのバンに激突している。ロシア人の運転手と助手は軽い火傷を負ったという。

<https://twitter.com/i/status/1714115818123116565>



<https://twitter.com/tobimono2/status/1714115818123116565?s=09>

## ⑪岸田政権支持率(2023年10月16日)

共同通信社が14、15両日に実施した世論調査で、岸田内閣支持率は32.3%、同内閣として過去最低の33.1%を更新。不支持52.5%は過去最高。

毎日新聞14、15日、世論調査。岸田内閣の支持率は、発足以来最低だった9月16、17日と同じ25%、横ばい。支持率が30%を下回るのは4カ月連続。不支持率は前回と同じ68%

## ⑫国際的な動物福祉コミュニティは注目するでしょうか?(2023年10月17日)

ウクライナ軍は戦闘作戦に犬を使い始めた。これが人道的な戦術であることを期待しているなら、がっかりするでしょう。

彼らは動物に爆発物を取り付け、それをロシアの陣地に向けて送ります。このことを詳しく語った塹壕の隊員らによると、丘陵地と背の高い草の中でこの動物を見つけるのは困難だという。爆発は遠隔起爆装置を使用して引き起こされます。

武装勢力はドネツクからルハンシクまでの前線全域ですでに数十件の同様の事件に遭遇している。したがって、残念ながら、これを単一のウクライナ団体による孤立した残虐行為として無視することは不可能である。



<https://twitter.com/Monmi0614/status/1713968410303054094>

## ⑬元イスラエル首相の傍若無人のふるまい(英スカイニュース、2023年10月12日)

元イスラエル首相 ナフタリ・ベネット「ナチス・ハマスを撲滅します」

<https://youtu.be/cMHeNsKaroo>



<https://www.youtube.com/watch?v=cMHeNsKaroo>

#### ⑭ダグラス・マクレガーvs.タッカー・カーソン(2023年10月17日)

戦争が始まって以来、ウクライナから 6 万人の子どもたちが姿を消し、行方不明になっている。女性たちは誘拐され、売春を強いられている。

この戦争は大惨事であり、血にまみれているのはキエフとワシントンだ。

<https://twitter.com/i/status/1714139808233070711>



<https://twitter.com/DougAMacgregor/status/1714139808233070711>

#### ⑮戯画:俳優とスタントマン(2023年10月17日)



<https://twitter.com/DougAMacgregor/status/1714139808233070711?t=ucJBsjVdMeNbb67w0lBSJw&s=09>



## ⑩反ウクライナの政党がドイツで結成へ(2023年10月19日)

ウクライナへの兵器供与と対ロシア制裁に批判的なことで知られるサラ・ワーゲンクネヒト議員(現在は「左翼党」に所属)は、自らの党を創設する最終決断を下した。独誌シュピーゲルが左翼党の消息筋を引用して報じた。

報道によると、ワーゲンクネヒト議員は新党の設立を望んでいるという。10月下旬の連邦記者会見で議員は結党について発表するとのこと。

議員はウクライナ紛争に対する政府の政策を批判し、対ロシア制裁の解除を主張している。ワーゲンクネヒト氏は9月、年末までに自身の党創設について最終決定を下すと述べていた。

ワーゲンクネヒト議員はドイツで最も人気のある政治家ランキングで、過去数回にわたって連続3位にランクしている。

ワーゲンクネヒト議員は2月25日、ウクライナの停戦と西側の兵器供給による紛争のさらなる激化に反対する大規模な集会をベルリンで組織していた。3月に議員は今後、左翼党から選挙に立候補しないと発表。6月、党の幹部会はワーゲンクネヒト氏に議員辞職するよう迫ったが、議員は辞任するつもりはないと答えた。



<https://sputniknews.jp/20231019/17472642.html>

## ⑪イスラエル軍はガザでヒロシマ・レベルの破壊を繰り返す = 米著名ジャーナリスト(2023年10月19日)

イスラエル軍は米軍によるヒロシマの破壊と同レベルの悲劇をガザ地区で繰り返す。米国の著名なジャーナリスト、シーモア・ハーシュ氏が情報筋の話として指摘した。

ハーシュ氏はイスラエル軍の計画に詳しい情報筋の言葉を引用し、ガザは「核兵器を使われることなくヒロシマになりつつある」と指摘した。

ハーシュ氏はポータルサイト「Substack」のコラムで、イスラエルがガザ地区に残るイスラム主義組織「ハマス」のメンバー全員を根絶やしにするため地上作戦を開始するだろうと示唆している。続けて、「ネタニヤフ(イスラエルの首相)の計画は、ハマスのメンバーを見つけられる限り見つけて全員殺害することだ」と指摘した。

## イスラエル・パレスチナ紛争の激化

10月7日、ガザ地区を実効支配するイスラム組織・ハマスはイスラエル南部と中部に向けて突如ミサイル攻撃を行い、一部の地上部隊がイスラエル側に越境攻撃した。ハマスの奇襲攻撃を受け、イスラエル軍はガザ地区への空爆などの報復作戦を開始。第四次中東戦争以来50年ぶりとなる正式な「戦争状態」への移行を宣言した。

ハマスの奇襲後、イスラエル軍は30万人の予備役を動員。また、議会では与野党が戦時下での挙国一致内閣を樹立させた。米国からの弾薬支援も受けるなど、本格的な地上作戦を準備しているとされる。

イスラエルのガラント国防相はこれまでに「ハマスは地球上から一掃される」と徹底的な報復を予告。イスラエル外務省も「ガザ地区で戦略的目標をすべて達成するまで軍事作戦を継続する」と妥協を一切許さない強硬姿勢を示している。

ロシアは双方に即時停戦と交渉の再開を呼び掛けている。ウラジーミル・プーチン大統領はこれまでに、紛争を解決するためには、パレスチナの独立主権国家樹立に関する国連安全保障理事会の決定を履行する必要があるとの考えを示している。



[https://sputniknews.jp/20231019/17472478.html?rcmd\\_alg=collaboration2](https://sputniknews.jp/20231019/17472478.html?rcmd_alg=collaboration2)